

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	新規	事務事業名称	121 健康管理システム整備事業				
担当部	020000 市民健康部		課・室	020701 健康推進課	所属長名	真栄田 由美子	

(1) 基本情報

基本目標	003 元気のつながるまち(健康・医療・福祉)		施 策	002 保健基盤の充実	
事務事業期間	平成31年度 ～ 令和05年度		会計種別	01 一般会計	
経費の性質			実施計画対象	1:対象	
事業概要	実施方法	直接実施		実施根拠 (法令や条例等)	
	目的	母子保健情報の利活用推進を図るため、健診受診等の電子化と併せて市町村間の連携強化を進める。情報連携のために国が指定した情報を整備する。			
	対象	乳幼児健診や妊婦健診等に関連するシステムの改修			
	活動内容	市で実施している保健事業の健診関連業務を管理するシステムを導入し、乳幼児健診情報連携のために改修作業を実施する。			
	意図(成果)	マイナポータルを活用した個人情報の管理ができる。			

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費		千円	0	6,384	0	6,384	6,384
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	6,384	0	6,384	6,384

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
母子保健情報の取込	事業	乳幼児健診や妊産婦健診、マタニティ教室、訪問事業等データ入力し管理していく。	関係機関との連携	回	システムを活用した情報連携ができることで切れ目のない支援につながっていく。

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	母子保健情報の取込	事業	計画値	0	1	1	2	2
			実績値	0	0	1	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	関係機関との連携	回	計画値	0	1	1	3	5
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	☐ 目的は明確で上位の施策に結びついている ☐ 目的は上位の施策に結びついていない ☒ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 情報連携が目的であるため。
	②行政が関与する妥当性	☒ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ☐ 国、県、市の協調によるもの ☐ 民間ではできない、または民間では実施していない ☐ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ☐ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。

必要性	③市民ニーズ	☒ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ☐ 市民ニーズが増加傾向にある ☐ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ☐ 市民ニーズが減少傾向にある ☐ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 個人の健康情報管理していくというパーソナルヘルスレコード（PHR）の確立のためには、乳幼児健診情報は不可欠である。
	④現時点での優先性や緊急性	☐ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ☐ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ☒ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ☐ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ☐ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 個人の健康情報を管理していくものであり現行実施の健診データを一括管理できるようにすることは、今後の市民サービスにもつながっていくと考えている。

公平性	⑤受益者負担は適切か	☒ 広く市民を対象としていることから適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ☐ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ☐ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ☐ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 市民の健診情報である。
-----	------------	---

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているかどうか	☐ かなり縮減できている ☐ ある程度縮減できている ☐ あまり縮減できない ☐ 縮減できない ☒ 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 システム整備をすることで事務作業が増えており効率性を求めるものではない、と考えている。データ化がさまざまな連携や施策、活用につながっていくので将来的には事務の効率化が期待される。
-----	------------------------------	---

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	☐ 目標を上回る ☐ 目標を概ね達成している ☐ 目標をやや下回る ☒ 目標を下回る ☐ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 システム整備したばかりなので今後連携がすすんでいることが、期待される。
-----	-----------------------	--

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 2. 必要性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 3. 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 4. 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり 5. 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 A A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 ☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 改善 ☐ 民間委託 ☐ 統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）